

TAMARIBA

– tamagawa river side festival –



2019.02.18

Before

- ・以前は多摩川河川敷で多くのBBQ利用で賑わっていた
- ・一方でゴミ放置や深夜の花火などマナーが低下



- ・2012年に火気利用を禁止する条例が施行

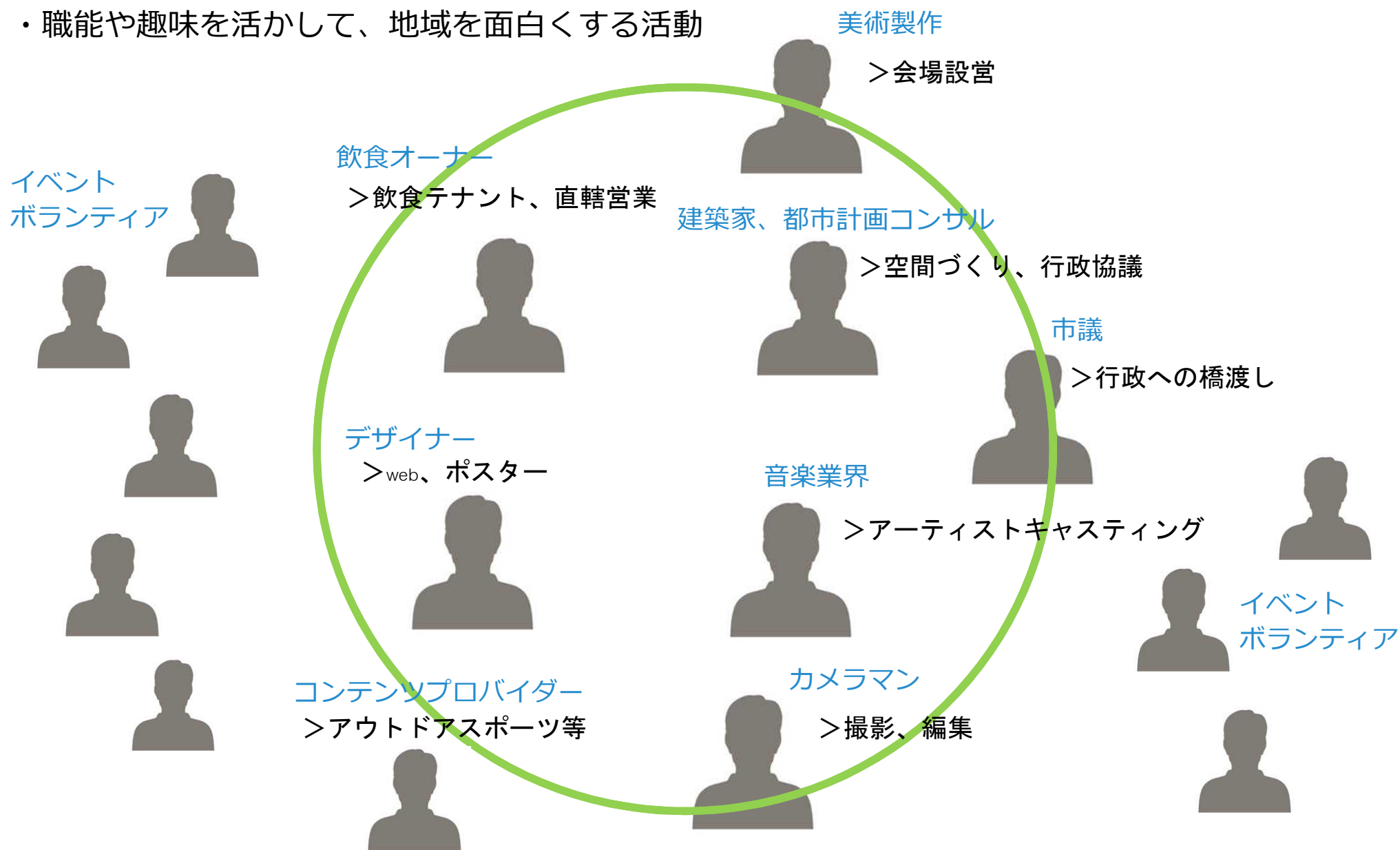


河川敷がキレイになった結果、賑わいが無くなる

地域の貴重な資源が使われてなくて、もったいない、

Team

- ・メンバーのプロボノで運営
- ・職能や趣味を活かして、地域を面白くする活動



TAMARIBA - tamagawa river side festival -



タマリバゲート



大人気の百連発シャボン玉



会場の風景



星空シネマの風景



スラックライン体験



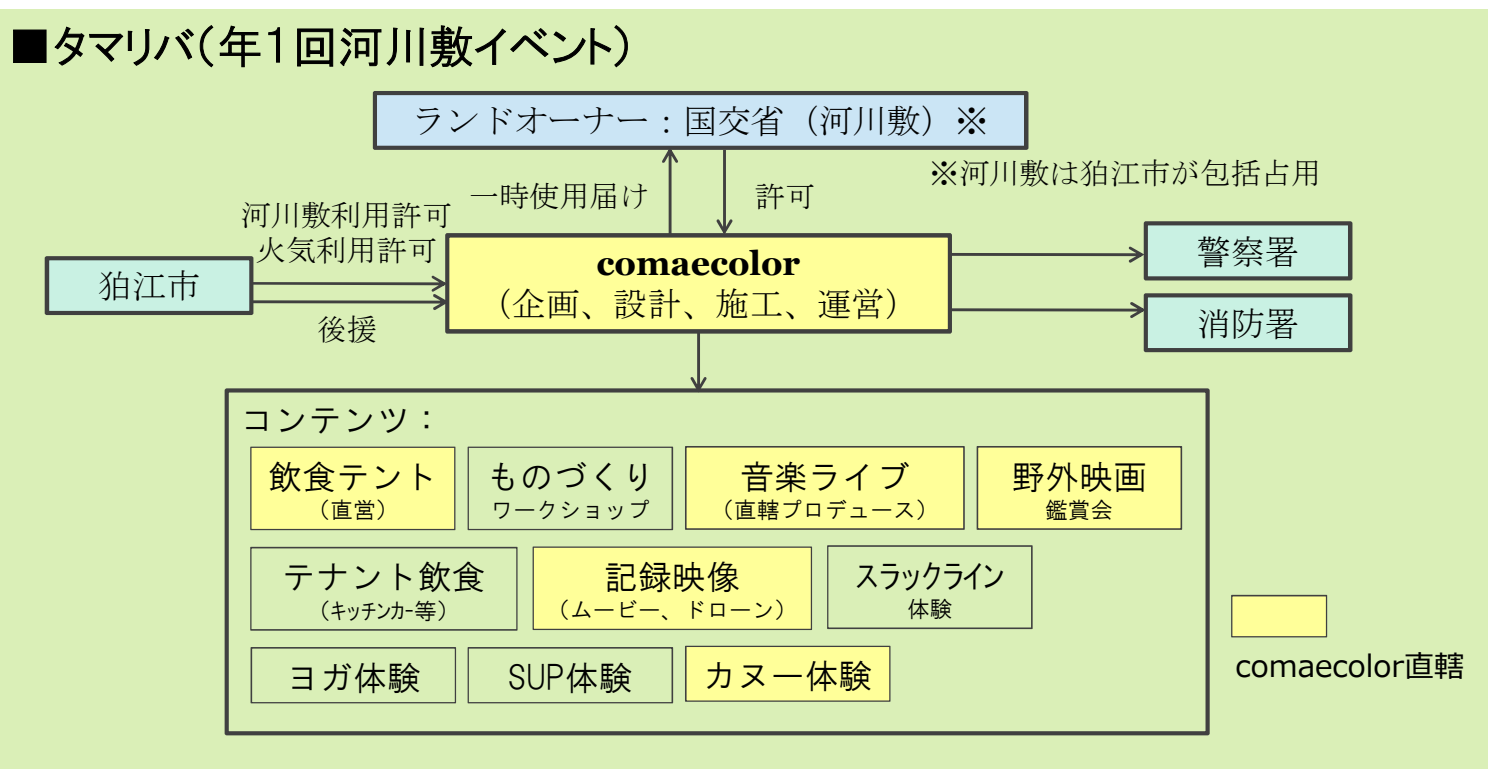
ステージでの野外ライブ



SUP体験ツアー

DIYスタイルの河川敷イベント

- 主催：comaecolor（任意団体）
- 後援：狛江市
- 場所：東京都狛江市 多摩川河川敷
- 年1回2日間開催（2018年10月8日、9日）
- 来場者：2016年3,000人、2017年7,000人、2018年12,000人
- 特定のスポンサーを持たない独立採算型のイベント



収入

クラウドファンディング

リターン品として飲食チケットや体験コンテンツを提供

地元協賛

単に寄付ではなく、リーフレット掲載やHPへのリンクなど企業メリットを提供

テナント料

飲食や物販などのテナント料一律と歩合を併用

飲食売り上げ

主催者店舗の売り上げの一部を事業費にバック

ドネーション

ゲートでのドネーション
DIYスタイルのコンセプトを訴求

- ・メンバーのプロボノでローコストを実現
- ・各種デザイン、撮影や会場制作もほぼ実費のみ、多くのファンチャも運搬費のみ
- ・公的資金ゼロ、大企業スポンサーなしで単独収支の黒字を実現
- ・古くからの地域イベントとは違う、協賛の集め方
- ・初挑戦の会場でのドネーションも成功

支出

会場設営費

ゲート、ステージ、テーブルなどの設営費用

備品レンタル費

テント、テーブル、チェア、発電機等のレンタル品費用

アーティスト出演料等

音楽アーティストや一部コンテンツの謝礼

印刷、広報費

フライヤー、ポスターなどの印刷費
Webを中心とした広報費はほぼゼロ

ソノバアワード2017大賞



Metro min.



Jcom狛江人図鑑



NHKニッポンぶらり鉄道旅



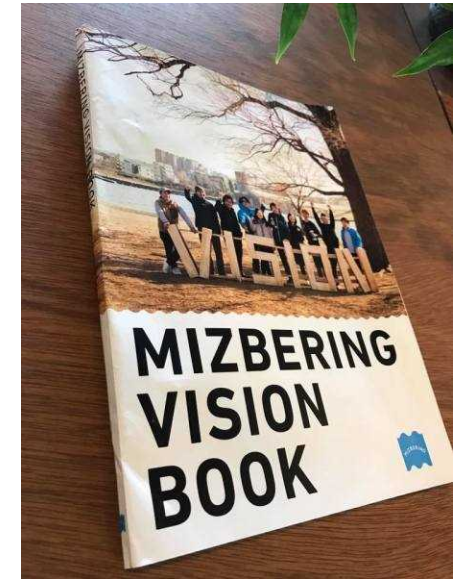
J-wave出演



朝日新聞



ミズベリングビジョンブック



Odakyu voice

調布経済新聞

Time Out Tokyo

Greenz.jp

毎日新聞

REBITA - マンション広告 -

KEIO
あはれとあたらしいあしたへー京王グループ

【リノベ向き物件】
 駅徒歩2分の利便性とひろびろ4LDK・95.51㎡
 多摩川を臨む開放感のある眺望

小田急線
「和泉多摩川」駅徒歩2分

OPEN ROOM 4/28(土), 29(日) 10:00~17:00
オープンルーム開催

※インターホンで603号室をお呼び出してください

多摩川河川敷に面した3号棟6階の、解放感のある眺望と空間です。

販売価格(税込):
物件売主につき直接販売
 仲介手数料不要

専有面積:
95.51㎡
(28.9坪)

4LDK 全居室多摩川ビュー

南東角部屋

駅徒歩2分

安心の新耐震基準

住宅ローン減税 最大400万円

ReBITA
株式会社リビタ



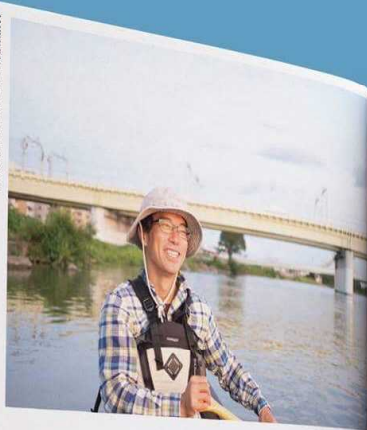
INTERVIEW of LIFE STYLE

狛江の人
小さ

狛江に暮らす

DAYS_13

INTERVIEW of LIFE STYLE



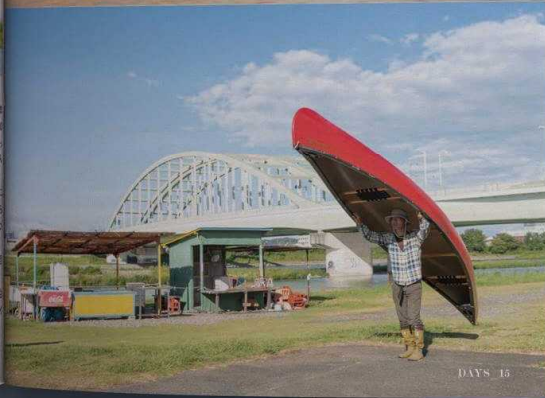
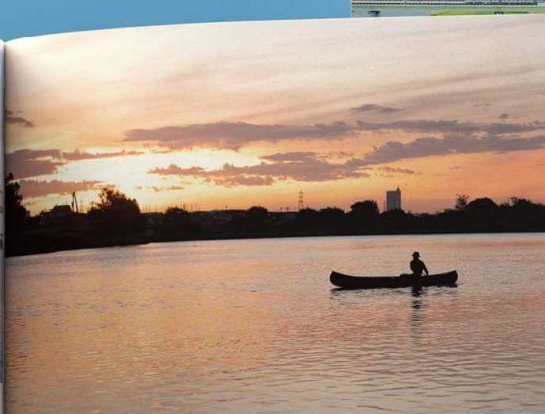
多摩川にカヌーを浮かべる
都市型アウトドアライフを実践

会社員/
橋本 研さん

まるで日焼けサロンにでも行っているかのような、小麦色の肌が印象的な橋本さんは、もともと狛江に住んでいた奥様の結婚を機に、2002年から狛江暮らしをスタート。外壁を独特なガルバリウム鋼板に覆われたシンプルなお宅も存在感がありますが、何より目を奪われるのが、庭に置かれた3隻のカナディアンカヌーです。
「友人に誘われて乗ってみたらすっかり虜になってしまって、もうこれ7年目。年中乗ってるから日焼けしちゃうんですよね(笑)。カヌーは水の上に浮かんでいる感覚が心地いいんですが、こればかりは実際に体験してみないと分からないから、ぜひ一緒に乗ってみましょうよ。」
そう言って、早朝から取付庫を連れ出す橋本さん。カヌーを愛車に積み、走ることも分り多摩川に到着。この狛江ならではのロケーションがお気に入りのようです。



「大井川、奥川、那珂川、古沢川……4〜5人に1人は乗りますが、この近さにはありません。家で釣りをしていると分れば、すぐに川の上です。でも、近所の人から「お久しぶり」とした空き時間を迎えることがいいです。」と、橋本さんは自慢気に笑顔を見せてくれます。
静かな水面に漕ぎ出すと、いつもの多摩川がまるで水面から見える景色は新鮮です。あちこくには緑豊かな上陸したのには、小田急線の橋の下にあるお気に入りのカフェも来るお気に入りの場所の中。ここには「カヌーを遊ぶ場所」もたくさんあります。
「真の楽しさと奥の楽しみは、カヌーを遊ぶ場所です。身近な多摩川で、こんな贅沢なアウトドアライフを送ることは、狛江には、まだ見ることができない。橋本さんのカヌーライフを見てみると、そんな可能性を感じてほしいですね。」



DAYS_15

DAYS_14

What we want?

自分たちが住むまちをより良くしたい

まちを面白くしたい

狛江の良さをもっと知ってもらいたい